

2022年8月8日

大阪大学大学院国際公共政策研究科

第一生命保険株式会社

大阪大学大学院国際公共政策研究科と第一生命保険株式会社が連携協定を締結 ～ESG投融資分野における協働を通じ、社会課題の解決と運用収益の拡大を目指す～

大阪大学大学院国際公共政策研究科(研究科長:赤井 伸郎)は、第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「第一生命」と)と産学連携による ESG(Environment=環境、Society=社会、Governance=ガバナンス)インテグレーションを通じた社会課題の解決を目的として、連携協定を締結しました。

1. 連携協定の背景と目的

本協定においては、特に大阪大学大学院国際公共政策研究科に設置されている ESG インテグレーション研究教育センター(以下、「ESG-IREC」と)と第一生命が共同で多様な研究プロジェクト等の協働取組みを実施していきます。

ESG-IREC は、国立大学で初めて ESG を専門に研究する機関として、センター長の星野俊也教授(前国連日本政府代表部大使)のもと、持続可能な未来の形成に向けて、企業のビジネス活動における望ましい「ESG インテグレーション」モデルについて、理論と実践の両面から研究・教育社会連携を推進していきます。

ESG-IREC と機関投資家である第一生命が本協定を通じた協働事業を推進することで、ESG 投資の更なる発展に繋げ、社会課題の解決に貢献していきます。

2. 本協定における主な取組み事項

本協定を通じた ESG-IREC と第一生命による共同の研究プロジェクト等を通じた取組み事項の例は以下の通りです。社会情勢の変化等を踏まえ、取組み内容は適宜変更することを予定しております。

ESG インテグレーション高度化に向けた研究
資産運用ポートフォリオのカーボンニュートラルに向けた研究
ESG 要素によるリスク・リターンの実証研究

上記に加えて、人材交流を通じた協業の実施も予定しております。第一生命のサステナビリティの取組み全般に関して外部有識者の知見による高度化を進めるべく、センター長の星野俊也教授をはじめとする ESG-IREC との連携を積極的に行います。また第一生命から ESG-IREC に対して研究員の派遣等を行うことで、第一生命における ESG 投融資分野の専門人材(ESG アナリスト等)の育成につなげます。

大阪大学大学院国際公共政策研究科 星野俊也教授

ESG インテグレーション研究教育センター(ESG-IREC)では、持続可能な未来をつくるためのグローバルな公共政策の観点から、ESG を通じ、企業のビジネス活動と地球・人類の課題解決との好循環を導き出す「ESG インテグレーション」モデルの高度化を目指しています。すでに国内で機関投資家として積極的な責任投資に早くから従事して実績をあげ、グローバルにも「ネットゼロ・アセットオーナー・アライアンス」や「ネットゼロのためのグラスゴー金融同盟(GFANZ)」をはじめとする先進的な取組みをリードする第一生命様との多様なテーマで協働事業を進めさせていただけることにより、ESG 分野での学術面でのフロンティアの開拓と従来の枠を超えた民間企業の ESG 推進に知的貢献ができることを楽しみにしています。

第一生命保険株式会社 取締役常務執行役員 飯田貴史

第一生命は、日本全国のお客さまからお預かりした約 38 兆円の資金を、幅広い資産で運用する「ユニバーサル・オーナー」として、運用収益の獲得と社会課題解決の両立を目指し、ESG 投融資とスチュワードシップ活動を柱とした責任投資を推進しています。2020 年4月に ESG 投融資の基本方針を策定し、従来から ESG 投融資を積極的に展開してまいりましたが、気候変動や人権問題等の世界的な社会課題が顕在化する中、取組みの継続的な高度化が不可欠と考えています。大阪大学様との協働事業を通じて、ESG 投資の更なる発展と、運用収益の拡大に繋げていきたいと考えています。